

平成30年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | |
|-------------|---|-------------|------------------------|
| 施設名 | 新潟市陸上競技場 | | |
| 管理者名 | 新潟市開発公社・新潟アルビレックスRC | 指定期間 | 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 |
| 担当課 | スポーツ振興課 | | |
| 所在地 | 中央区一番堀通町3番地1 | | |
| 根拠法令 | スポーツ基本法 | | |
| 設置条例 | 新潟市体育施設条例 | | |
| 施設概要 | 陸上競技場 敷地面積 41,280㎡ 延床面積 4,996.2㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（4階建） 主な施設内容 トラック 4,683.179㎡ フィールド 14,561.665㎡ メインスタンド（4階建） 3,348.09㎡ バックサイドスタンド 5,543.7㎡ 駐車場 8,250㎡ トレーニングセンター 延床面積 571㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造（陸上競技場内） 主な施設内容 1階 トレーニングルーム（筋力系），男女シャワールーム，事務室 2階 トレーニングルーム（有酸素系），健康相談室 | | |

| 施 設 設 置 目 的 |
|---|
| スポーツの普及振興を図り，市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として，体育施設を設置する。 |
| 管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等 |
| (1)新潟市体育施設条例に基づき，スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに，住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し，安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき，個人情報の保護を徹底するとともに，業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し，実践すること。 |

| 視 点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価 ※ | 評価コメント ※ |
|-----------------|--------------------|------------------------------------|---|---------|------------------------------|
| 市 民 | 広報の充実 | ホームページに施設の情報及びブログを月1回以上更新 | ・HPでの情報提供実施(1回/月以上) ・館長ブログ実施(概ね1回/月更新) ・スタッフ通信実施(1回/週更新) | A | 積極的な広報に努めており、評価できる |
| | 基準利用者数の達成 | 利用者数年間287,000人以上 | ・236,837人 | C | 利用者減の要因を探り、対策を講じること |
| | 各種サービス別満足度 | 施設管理に関する利用者アンケートで「満足」が75%以上 | ・H30施設アンケート 接遇項目：平均約83.2% | A | 利用者から良好な評価を得られている |
| | 苦情・要望に対する対応 | 苦情・要望には14日以内に回答 | ・苦情対応マニュアル整備 ・苦情、要望には迅速に回答 | B | 適切に対応した |
| | 設置目的に合致したサービス提供 | 各種スポーツ教室に延2,000人以上参加 | ・スポーツ教室開催数：年間247コマ ・スポーツ教室延参加者数：3,415人 | A | 新規教室の開催など、利用者獲得に積極的に取り組んでいる |
| 財 務 | 利用者1人あたりのコスト削減額 | 利用者1人あたりコスト(人件費及び工事費を除く)を208円以下 | ・275円 | C | 利用者の増加を図るとともに、管理経費の削減に取り組むこと |
| | 市の歳入の増加 | 使用料収入を年間34,125千円以上 | ・29,884,750円 | C | 利用者数・利用件数の増加を図り、収入の確保に努めること |
| 業 務 | 他施設との連携に対する理解 | 他施設との連携会議を月1回以上開催 | ・週1回館長会議を開催 | A | 他施設とも積極的に連携を図っており、評価できる |
| | 人員計画の合理性妥当性 | 業務基準書の人員確保 | ・施設管理に必要な人員を配置 | B | 適切に対応した |
| | 日常連絡の適切さ | 各種報告書の提出期限厳守及び業務基準書に定められた報告内容の適切さ | ・遅延なく適切に提出 ・連絡等は随時適切に行われた | B | 適切に対応した |
| | 改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ | 改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応 | ・簡易なものは迅速かつ適切に実施 ・時間を要する業務改善指導なし | B | 適切に対応した |
| | 環境に配慮した管理運営 | 省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施 | ・照明の間引きによる節電 ・水道蛇口調整による節水 ・節水型シャワーヘッド設置 ・コピー用紙の裏紙使用 | B | 経費節減に向けた取り組みを積極的に実施している |
| | 安全責任者の配置と安全確保体制の確立 | 防災訓練年2回以上実施 | ・安全責任者として館長を配置。不在の場合は正職員が代行 ・消防訓練実施(5/31,3/6) ・防災危機管理講習会受講(3/7) ・防犯危機管理講習会受講(6/21) | B | 適切に実施した |
| | 当該施設の管理に係る関係法令の遵守 | コンプライアンス研修年1回以上実施 | ・コンプライアンス講習会実施(4/9) | B | 適切に実施した |
| | 事件・事故発生時の対応の適切さ | 補償を伴う事故発生件数0件 | ・事件、事故に対応するマニュアルの中で必要な規程が整備されている。必要な訓練も実施されており、事故発生時の対応もしっかりなされている。 ・補償を伴う事故発生なし | B | 適切に施設管理を実施した |
| 業務基準書等に定める事項の遵守 | その他業務基準書等に定める事項の遵守 | ・遵守した | B | 適切に対応した | |

| | | | | | |
|--------|------------------------|----------------------------|---|---|---------------------|
| 人 材 | 配置人員条件の充足 | 業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置 | ・各種資格所有者やスポーツ施設管理の経験者を適切に配置 | B | 適切に対応した |
| | 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 | 職員研修を年2回以上実施 | ・普通救命講習Ⅱ(4/16・23,5/14) ・インストラクション研修(全15回) ・スポーツ相談研修(10/18,11/21) ・研修の最後に理解度テスト実施 | A | 職員の能力向上に努めており、評価できる |
| | 労働基準の充足 | 労働関係法令の遵守 | ・遵守した | B | 適切に対応した |

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

[市民]スポーツ教室は、新規教室を開催することで開催数が増加し、新規のお客様も増加傾向である。

[財務]利用者1人あたりのコスト削減額及び歳入の増加ともに評価指標を達成できていない。経費はある程度かかるため、コスト削減のためにも利用者数の増加が課題である。

[業務・人材]実際の現場の状況に対応した各種研修の充実を図り、事故発生なしという結果となった。引き続き、全職員に継続的に研修を実施することで、更なる職員のスキルアップを図り、安全・安心な施設管理・運営を目指したい。

所管課による総合評価(所見)

5年間の指定期間を通して、適切な施設管理・運営が行われていた。職員研修や他施設との連携にも積極的に取り組み、利用者から良好な評価を得られている点は評価できる。スポーツ教室の参加者数も目標を大きく上回っており、定期的な施設利用者を獲得できていることは大いに評価できるが、年間利用者数や施設使用料収入額は目標を達成できなかったため、利用者の獲得に向けて更なる利用者ニーズの把握に努めるとともに、積極的な業務改善の提案を期待する。